

- 巻頭言 理事長退任／就任のご挨拶 1
- 特集 全国被害者支援ネットワーク・
各支援センターの財政状況と課題 3
- 寄稿 全国被害者支援ネットワーク・加盟団体に期待すること 4
- センター紹介 被害者支援都民センター 5
- 用語解説 裁判員裁判と被害者 6
- 編集後記 8

理事長退任のご挨拶

認定特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワーク

前理事長 山上 皓

本年5月をもちまして、全国被害者支援ネットワークの理事長を退任いたしました。平成4年に東京医科歯科大学の研究室に犯罪被害者相談室を開設し、平成10年には全国被害者支援ネットワークを設立して、被害者支援活動の推進に努めてまいりましたが、皆様の温かいご支援、ご厚情を賜り、無事自らの務めを果たし、役割を終えて将来を次世代に託して身を引くことができました。

平成10年に全国被害者支援ネットワークを設立して以来、さまざまな困難にも遭遇いたしました。その都度、警察庁はじめ関係機関団体の皆様、被害者支援に携わる同志の方々よりご支援をいただき、着実に歩みを進めることができました。ここにあらためて、皆様に深く感謝申し上げます。

私たちの被害者支援活動の原点は、犯罪被害者・遺族の思いにあります。20年前の相談室の設立も、一遺族の声に応えてのことでした。これまで数々の困難にも直面しましたが、そのようなときには常に、被害者・遺族の思いに応えるものはいずれか、という視点から道を選ぶよう努めてまいりました。大きな困難に出会ったときにも、心ある皆様のご支援をいただき、道が拓かれてまい

りました。被害者・遺族の方々の思いが、私たちを導いてくださっていると思うこともしばしばございました。被害者支援の次代を担われる方々には、私たちの活動の原点を確かめながら、さらに着実に歩みを進めていただきたいと願っております。

加盟団体も、年を追うごとにその数と規模、活動内容を拡大してきており、全国被害者支援ネットワークの今後の組織運営には、なお多くの難題が待ち構えておりますが、そのような時期に、組織運営についての豊かな経験をお持ちで、被害者遺族の一人として志をお持ちの平井紀夫氏（前副理事長）に後を引き継ぐことができましたことは、まことに幸せなことと思っております。

全国被害者支援ネットワークは、今後、平井紀夫新理事長のリーダーシップのもとで、一体となって被害者支援活動の充実を目指してさらに歩みを進めて行きますが、私も今後2年間は一理事として、お手伝いをさせていただく所存です。

皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

発行：公益社団法人全国被害者支援ネットワーク